

千葉工業大学同窓会 第7回埼玉県支部総会の報告

2024年（令和6年）6月8日13時～17時、ヘリテイジ浦和 別所沼会館で第7回埼玉県支部の総会を開催いたしました。

参加者は、①大学から同窓会副会長・創造工学部都市環境工学科教授 鎌田元弘先生（建築S55卒）、同窓会事務長 竹内秀一様（機械H3卒）、記念講演講師・工学部機械電子創成工学科教授 和田豊先生 ②支部幹事会メンバー 江口栄一支部長（工経S53卒）他5名 ③支部出席メンバー13名 総勢22名でした。

13時、春日克己（精密S54卒）の司会で始まり、江口支部長が支部挨拶として2年間を振り返った。来賓の同窓会副会長・教授の鎌田元弘先生より支部活性化のヒントを頂きました。同窓会事務長の竹内様からは新たな学科の改組等、本学の近況についてのご報告が有りました。



鎌田副会長 和田教授 竹内事務長



記念撮影 江口支部長前列中央

議案審議

江口支部長より報告議案と計画議案の説明が行われ、審議されました。

- ① 2022年・2023年度
活動報告・収支報告・監査報告 承認された。
- ② 2024年・2025年度
活動計画（案）・予算（案） 承認された。
- ③ 幹事・役員選出 承認された。

記念講演

『宇宙技術者育成のための
実践的宇宙教育の推進と宇宙工学研究の紹介』
工学部機械電子創成工学科
教授 和田 豊 先生

【和田先生は】大学の学部生のころからロケット推進工学に興味を持たれ、自らロケットを作り・打ち上げておられました。講演はロケットの歴史から始まりました。

【講演概要】ロケットの祖先は中国で矢を飛ばすものから始まり、第二次世界大戦のドイツのV2ロケット、旧ソ連・アメリカの競争へと進む。戦後の日本では、糸川英夫先生の固体燃料ペンシルロケットから始まった。ロケットを水平に発射するという画期的な発想での研究であった。ペンシルロケットは成長し、その成果は今日の日本のロケットに繋がっている。和田先生も、北海道や秋田などでのロケット開発・実験に携わられている。

このように発展してきた日本の宇宙工学には、



多くの研究者はいるものの、技術者が不足している状況にある。学生たちを技術者として育成すべく、自ら考えてロケット

を製作する実践的な課題を学生に与えている。例えば、『海上からロボットを搭載したロケットを発射。ロボットは海上で、パラシュートで降下し、着水後は海を泳いで浜までたどり着く』システムなどである。そして、本年4月には、学部生が作

った小型衛星『KASHIWA』が国際宇宙ステーションから宇宙に放たれた。

懇親会



鎌田同窓会副会長の乾杯の音頭で懇親会は始まりました。記念講演の熱がそのまま懇親会に！！和田先生の周りでは宇宙への思いが語られていました。



楽しい会話に時間を忘れ、気づくと2時間が過ぎ、お開きの時間。副支部長桑原昭博（土木S48卒）の締めの挨拶と校歌を聞き、散会しました。

